

## 第11回 北海道プライマリ・ケアフォーラム開催予告

2024年11月16日（土）、第11回北海道プライマリ・ケアフォーラム、および日本プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部第8回学術集会（兼 第103回北海道医学大会プライマリ・ケア分科会）が、「かでの2・7」で開催されます。昨年は、4年ぶりの現地開催が実現し、喜びに満ちた時間となりました。今年も現地開催を予定しており、多くの皆様にご参加いただけることを楽しみにしています。基調講演には、岩見沢ささえるクリニックの永森克志先生、更別村コミュニティーナースの稲本夕海さん、今村智之さん、西上ややさんをお迎えし、「この場所で私たちにできること」というテーマでご講演いただきます。職種や職歴を問わず、プライマリ・ケアについて学ぶ貴重な機会です。ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしております。

## 11th 北海道 プライマリ・ケア フォーラム

Theme  
多職種連携で描く  
医療の新しい地図

**日時** 2024年11月16日(土)  
12:30～19:10

**場所** かでの2・7 (北海道立道民活動センター)  
北海道札幌市中央区北2条西7丁目

**参加費** 無料

**公式 X** [x.com/Hokkaido\\_PCF](https://x.com/Hokkaido_PCF)

**内容** 12:30 開会式  
13:00 ワークショップ①  
14:40 ワークショップ②  
16:10 学術集会  
17:30 基調講演  
18:50 閉会式

\*終了後、懇親会を予定  
ホテルホールスター札幌  
(会費：一般 5,000円 学生 3,000円)

**申込** 支部会ページにて  
10月初旬から  
受付開始




主催 日本プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部 共催 日本プライマリ・ケア連合学会 学生初期研修医部 北海道支部

「プライマリ・ケア専門医/認定医更新のための単位」「専攻医のOff-the-job Training単位」  
「プライマリ・ケア認定薬剤師の認定単位」認定予定

<http://jpca-hokkaido.jp/>

## 基調講演 (17:30-19:00)

演題「この場所で私たちにできること」

永森 克志さん (医療法人社団ささえる医療研究所 理事長)  
稲本 夕海さん、今村 智之さん、西上 ややさん(株式会社まめ一ず、株式会社 CNC)

地域で過ごす人たちが、健康でその人らしく生きるために、これから先も健康で豊かな地域を作っていくために、私たちにできることについて語り合います。少しでも地域に関わりたいと思っている人 必見です。

【座長】 渡邊 由桂さん(新路協立病院、第11回北海道プライマリ・ケアフォーラム実行委員長)



## ワークショップ第1部 (13:00-14:20) \* 以下のうち、1つを選んでいただきます。

【臨床推論】ドクターG を体験しよう！ 学生・研修医の為の臨床推論。

小松 守先生 (那広厚生病院) ほか

チームで症例の議論をしたら、最終診断に至るまでの過程を楽しく解説します。  
学生や研修医が楽しめるよう、お助けキャラの配置があります。【橋下】「いつまでもおいしく食べ続ける」ために医療者に出来ること～橋下に対するリハビリ、栄養、口腔ケアを中心に～  
濱田 浩美先生 (横西歯科)、岡澤 健先生 (札幌深仁会リハビリテーション病院 栄養科)  
中川 晴絵先生 (札幌深仁会リハビリテーション病院 リハビリテーション部)

症例を通して橋下のリハビリ、栄養、口腔ケアの理解を深めるワークショップ、そして流動食や固形食などの介護職を食べる、食べさせるワークショップを行います！

【学生企画】運営メンバー (旭川医科大学) 宇高 彩、徳田 桃子 (北海道リハビリテーション大学校) 飯田 航大、谷口 凛花

【臨床倫理】立ち止まり、みんなで考える臨床倫理

川口 篤也先生 (函館桜北病院)

日々のモヤモヤに多職種で対応する力を身に付ける方法を学びましょう！

## ワークショップ第2部 (14:40-16:00) \* 以下のうち、1つを選んでいただきます。

【EBM】EBMの実践～多職種で Step4 (患者への適用) を考えよう～  
長谷川 優先生 (北海道家庭医療学センター/那広協立病院)、野藤 陽一先生 (斗南病院)、井上 紗紀先生 (なの花薬局)  
実際の症例を用いたグループワークを通してEBMを実践しましょう。【LGBTQ】医療現場におけるLGBTQ当事者とのコミュニケーション入門～公正なヘルスクアを提供するために～  
小内 ゆい先生 (勤医協札幌病院)、工藤 久美子先生 (Queer Life Project)

医療現場に必要なLGBTQの基礎知識と用語を学び、診療を想定した実践的コミュニケーションについてのワークショップを行います！

【地域デザイン】医療とデザイン～パーソナル空間からソーシャルデザインまで～

山田 康介先生 (北海道家庭医療学センター/更別村国民健康保険診療所)、  
松浦 美穂先生 (神奈川県立こども医療センター)、田邊 琴音先生 (法政大学大学院デザイン工学研究科建築学専攻修士1年)  
病室・薬局・まちづくりについて、3種類のグループに分かれてデザインをします。なかなか学ぶ機会が少ないデザインについて、様々な背景の3人の講師の先生と皆さんで作ります！

学術集会並行企画 ※学生限定 (16:10-17:20)

毎年恒例、学生向けの交流企画です。今年は、コミュニケーションスキルを学べるロールプレイ企画も開催します。

基調講演・ワークショップの抄録は  
Facebookまたは支部会ページでご確認いただくことができます。

発行人

支部長 木佐 健悟 北海道ブロック支部事務局 (市立美唄病院内)

TEL:0126-63-4171

mail:hpca.jimukyoku@gmail.com

## リレーコラム

### 木佐 優葉さん

こんにちは、勤医協平和通りクリニック／勤医協札幌病院に勤務しています木佐優葉と申します。

今号を編集される大久保彩織先生よりご依頼を頂き、こんな（学会の王道とは程遠い）私でいいのだろうか…と思いながら書かせていただきます。

2022年まで倶知安厚生病院総合診療科、現在は勤医協に勤めています。いずれも非常勤です。子供が何人いてもワンオペでも、フルタイムや当番当直等されている先生方がたくさんいらっしゃる中、この働き方でいいのだろうかという思いや、ある意味での劣等感・申し訳なさをずっと持ってきました。でも大久保先生や現在関東にいらっしゃる在原房子先生と定期的にお会いして（もちろん美味しい物を食べながら）、総合診療ってやっぱり楽しいよね！という話を重ねるにつれ、私は自分のできる最大の範囲で地道に診療能力を高める努力をしたらいいんだ、と思えるようになり、昨年プライマリ・ケア認定医を取得しました。ちなみにこの三人の会は、困難事例の患者さんと向き合う際、急がず・投げ出さず・でも介入しどきを逃さない、という由来から「チーム中腰」と呼んでいます。（笑）

今回、なぜ私がこんなに総合診療という仕事が好きなのかを改めて考えてみたところ、思い当たることが3つありました。

一つ目、名付けて「総合診療は名探偵」。私は小中学生の頃シャーロックホームズマニア、俗に言うシャーロキアンでした。ホームズが依頼人の靴に付いた泥や袖口を見て、相手の素性或抱えている問題を言い当てる姿に憧れていました。このことは最近まですっかり忘れていたのですが、総合診療、特に私が大好きな初診外来はまさに名探偵！問診と身体所見から鑑別診断を想起して詰めていく作業は何年たってもわくわくしますし、AIでは決して代替できない人間のアートの部分だと思います。

二つ目は初期研修時の経験からです。私が初期研修をした病院は当時内科としては臓器別専門内科しかありませんでした（今は素晴らしい総合診療科があります！）。認知症・介護限界・その他諸々の問題を抱えた方が受診された際、プロブレムが各科に分けられてしまう・「それは当科ではありません」と言わなければいけないことを残念に思うこともあったのですが、総合診療では「まずは全部相談に乗りますよ」と言える喜びを感じています。

三つ目、これは若干のこじつけなのですが、私の趣味の一つであるお酒と総合診療の共通点についてです。クラフトビールと日本酒とウィスキーとワインと焼酎が特に好きなのですが（多）、特に最近道内でもどんどん増えているクラフトビールは、お酒の性質上地産地消という精神が強くなります。地元の原材料を使い、地域のシステムに入り込み、クラフトビールを作ることによって更に地域を盛り上げる。地域医療の精神を体現している（たぶん）！

そしてここで更にこじつけですが、2025年の日本プライマリ・ケア連合学会学術大会では、私の食に対する執念を買われて（？）おもてなし・キッチンカー部門を担当します。学会の本分であり、素晴らしい内容だらけになるであろう学術部門や金曜日企画・ソーシャルアクティビティは必見ですが、私のようにあまり真面目でない学会員でも、食事だけでも来てよかったと思えるようなラインアップにしたいと思っています。残念ながらクラフトビールは出せないのですが（笑）、皆様ぜひ起こしてください！





## 第 11 回

# 北海道地方会のご報告



実行委員長を務めさせていただきました、市立旭川病院の鈴木聡です。

2024年6月29日(土)、例年通りかでの2・7において地方会を開催いたしました。今回は会場予約の都合もあり、ややコンパクトなスペースでの開催となりましたが、結果として満員御礼の大盛況となり、非常に充実した会となりました。ウェブ参加を含めると、131名（現地参加123名）の方々にご参加いただき、内訳は医師68名、薬剤師29名、看護師・保健師13名、理学療法士・作業療法士7名、学生3名など、多職種にわたる参加者で構成されました。アンケート結果によると、90%以上の参加者から「大変満足」または「満足」との評価をいただいております、皆様にとって有意義な会であったことが伺えます。

今回のテーマは「今から取り組む、明日のためのヘルスプロモーション」でした。このテーマに沿って、2023年9月末より実行委員の皆様を中心に、多様なセッションが企画されました。例えば、「予防医療 Update」では、健診、誤嚥性肺炎、小児期逆境体験についての講義が行われ、地域医療における予防医療の重要性について深く掘り下げる機会となりました。特に、誤嚥性肺炎に関する新たな研究課題や、小児逆境体験という概念の理解が深まったとの声が寄せられています。

また、シンポジウム「地域リハビリテーションとアウトリーチ～リハ職による介護予防の取り組み～」では、リハビリ職による地域医療の現場での実践事例が紹介され、都市部と郡部での異なるアプローチや課題が活発に議論されました。リハビリテーションが社会復帰のみならず、ADLやQOLの維持にも重要な役割を果たすことが共有され、多くの参加者にとって有意義なセッションとなりました。

さらに、ワークショップ「臨床発達心理士から学ぶ、思春期ケアをする上で役立つコミュニケーションのコツ」では、思春期の患者対応に苦手意識を持つ医療者に向けて、具体的で実践的なコミュニケーションスキルが紹介され、多職種間での意見交換が非常に活発に行われました。

カフェ企画「待ち時間でちょこっとヘルスプロモーション（ちょこヘル）」では、待ち時間を有効活用し、患者さんのヘルスリテラシーを高めるための工夫が紹介され、参加者の皆様には日常の診療や地域医療における新たなアイデアを得る機会となりました。

一般演題も併せて行われ、中には医学生による発表もあり、特に好評を博しました。例えば、旭川医科大学の学生が行った一過性全健忘の診断に関する発表や、稚内エコー部の研修医が指導者として成長する過程を発表した内容は、アンケートでも多くの参加者から高く評価されていました。

最後に、基調講演「なぜあの人は健康づくりをしない？ ナッジで人を動かす」では、青森大学の竹林正樹先生をお迎えし、ナッジ理論を用いたヘルスプロモーションについての講演が行われました。竹林先生のわかりやすいスライドと語り口調は、参加者にとって非常に印象的で、日常診療にナッジを取り入れるという新たな視点が多くの参加者にとって刺激的な内容でした。

どの企画も充実した内容で、今後の日常診療に役立つ多くの学びが得られたのではないのでしょうか。なお、次年度の地方会は全国学会（学術大会）が札幌で開催されるため、地方会の開催はありません。学術大会の大会長は北海道ブロック支部長の木佐健悟先生が務めますので、皆様のご参加をお待ちしております。

---



## 北海道ブロック支部 広報委員会 編集後記

今回ニュースレターを担当した大久保彩織(ファミリークリニックさっぽろ山鼻/勤医協札幌病院/生涯医療クリニック札幌)です。

子どもたちが学校でChromebookを使って授業をするようになり、スライドを作っているときに使っていたCanvaを使ってニュースレターを作成してみました。豊富なテンプレートがあり、直感的に作業できるので、とても使いやすかったです。これからも子どもたちからも学びつつ新しいものにもチャレンジしてみたいと思います。

今回のリレーコラムはプライマリ・ケア認定医を取得しながら、こよなくプライマリ・ケアの臨床を愛している「チーム中腰」仲間の木佐優葉先生をご紹介出来、嬉しく思っています。今後も、様々なキャリア、人生を歩まれている皆様の紹介をしていきたいと思っています。

---

### その他のお知らせ

---

#### ① ブロック支部内部組織及び活動状況について

現在、広報委員会、若手医師・学生支援委員会、薬剤師部会 が各々活動 & 計画中です。

引き続き情報があれば随時共有していきます。

まだ Facebook のご登録をされていない方々もぜひ登録を！

<https://www.facebook.com/Hokkaidoprimarycare/>

#### ② 支部の予算について

コロナ禍で、事業をあまり行うことができなかつたことがあったため内部 留保があります。

幹事会での議論を経て、プライマリ・ケアの普及に予算を使う方向性としております。

このため今年度の北海道地方会および北海道プライマリ・ケアフォーラムは無料としております。

北海道ブロック支部でやってみたい行事や活動などがありましたら、

幹部会、幹事会などで議論しますので、ブロック支部事務局までご連絡 ください！

北海道ブロック支部事務局 Email [hpca.jimukyoku@gmail.com](mailto:hpca.jimukyoku@gmail.com)

---